

小中一貫校教育目標

豊かな学びを想像し
地域とともに伸びる
高松っ子の育成

高松小中一貫校だより

夢に向かい 力強く未来を切り拓く
自立した児童・生徒

令和7年9月2日(火)発行 第4号

高松学園

鹿嶋市立高松小学校

Tel:0299-82-4620

鹿嶋市立高松中学校

Tel:0299-82-1545

〒314-0028 鹿嶋市木滝 274

【地域とともにある学校を目指して】

今年の夏も酷暑が続き、農作物への影響が心配されます。周辺の田畑に目をやると青々とした作物があり、生産者のご努力と科学力の凄さを感じます。9月、校舎内に児童生徒の元気な声が戻ってきました。この夏休みも児童生徒の皆さんは多くの場で活躍されました。一部とは成りますが以下の紹介となります。ぜひ地域の方々からも称賛していただきたいと思います。

さて7月30日にカムチャッカ半島付近で発生した地震に伴う津波が押し寄せました。揺れがなかったため、市の防災無線が当初理解できませんでした。咄嗟にTVを付けてみると東日本大震災を想起すべき事態で、児童生徒たちと職員とで避難を行いました。落ち着いて避難ができたのは、「校内避難訓練・引き渡し訓練・地域防災訓練等」が功を奏しました。園児児童生徒は落ち着いて行動していました。反省をし、災害に備えていきたいと思ひます。避難に際しては、保護者の皆様、高松公民館の皆様ご理解とご協力に感謝申し上げます。

これからは、暑さもおさまり、より学習に専念しやすい季節となります。教育界では「主体的に授業に取り組む・・・」がキーワードとなっています。8月5日(火)中学部2,3年生の代表者で構成され市内大会を勝ち抜いて県東地区大会・さらに県大会(つくば国際会議場)に出場した「英語プレゼンテーション大会」が鹿行生涯学習センターで行われました。鹿嶋市や茨城県の魅力発信をテーマに英会話でプレゼンを行います。それぞれ異なる学校に対しプレゼンし、相手校から質問を受けコミュニケーション力を競い合います。その際、重要となってくるのは、流暢なスピーチ力のもとより、相手を意識し相手の力を引き出しながらの受け応えが肝となります。核家族化、少子化、予測困難な将来で粘り強く高松の子供たちが活躍していくには、郷土を理解し家族や友を愛し、国際感覚を身に付けていく必要があると改めて感じました。家庭でできる事できない事、学校でできる事とできない事、地域もしくりそれぞれが尊重し支え合い協働しながら児童生徒の育成をしていきたいと思ひました。今月もご支援宜しくお願ひいたします。

校長 木嶋 剛



【部活動集大成を迎える】

県東地区総合体育大会・吹奏楽コンクールでは各部とも素晴らしい活躍を見せてくれました。どの生徒も日々の練習の成果を存分に発揮し、その姿は感動を与えていました。

大会期間中、会場まで足を運び、熱い声援を送ってくださった生徒、先生方、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。皆さんの応援が、選手の背中を力強く押してくれました。

今後、部活動の運営については、違った形へと移行していきます。高松中学校の部活動はさらなる高みを目指して頑張ります。これからも応援よろしくお願ひします。



【高松小中学校運営協議会】

第2回目の協議会では、学校評価アンケートの結果報告や6月に行われた防災訓練の反省等について教職員と評議委員と熟議を行いました。多様な視点から意見交換ができ、貴重な時間となりました。また、「ひまわりプロジェクト」についても協議し、ますます地域とともに創る学びの場が展開されそうです。



【進路選択に向けて中学部1年生・2年生】

先日、中学部1年生では職業について調べ、進路選択にむけて活動していました。

また、中学部2年生が立志式を迎えました。未来の自分を真剣に見つめ、力強く決意を述べる姿は、大変頼もしく、大きな成長を感じました。

今回の経験を胸に、中学校生活をより一層充実させてほしいと願っています。



【児童生徒のために！PTA活動報告】

学校医、学校歯科医、学校薬剤師の先生方、PTA役員の方々にご参加いただき、学校保健委員会を開催しました。生徒の健康課題や生活習慣病予防について、貴重なご意見をいただきました。今後の保健指導に活かしていきます。

奉仕作業では、残暑厳しい中での作業となりました。多くの参加者で、会員様のご厚意によるパッカー車を活用し、効率よく作業をすすめることができました。

これからも、活動内容によっては学習ボランティア等を募集いたします。興味のある方は、ぜひお願ひいたします。



--	--